



2023年度 総合型選抜A日程(専願制) 入学試験問題

# 小論文

(60分)

## 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子は開かないでください。
2. この問題は1ページです。問題・解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

2023 年度 総合型選抜 A 日程 入学試験問題

小論文 (60 分)

FAO (国際連合食糧農業機関) の報告書によると、世界では食料生産量の 3 分の 1 に当たる約 13 億トンの食料が毎年廃棄されています。まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物のことを「食品ロス」といいます。食品ロスを放置すると、大量の食べ物が無駄になるだけでなく、環境悪化や将来的な人口増加による食料危機にも適切に対応できません。食品ロスの削減は、先進国にとっても途上国にとっても、避けて通れない喫緊の課題となっています。

日本でも 1 年間に約 612 万トン (2017 年度推計値) もの食料が捨てられています。これは東京ドーム 5 杯分とほぼ同じ量であり、日本人 1 人当たり、お茶碗 1 杯分のごはんの量が毎日捨てられている計算になります。日本の食料自給率は先進国の中でも低く、多くの食べ物を海外からの輸入に頼っています。しかしながら、多くの食品ロスを生み出しているという状況は、社会全体で解決していかなくてはならない課題の一つです。

日本における「食品ロス」の解消に向けての自身の意見を述べよ。

(400~800 字)